

アッケシソウを支え守る若人たち



浅口市少年スポーツ団



おかやま山陽高校 サッカー部



浅口市清掃センター従業員



寄島小学校 観察会

アッケシソウ通信

第9号

令和元年10月

緑・紅葉のアッケシソウを楽しむ来館者



みどり(開花)のアッケシソウ



紅葉したアッケシソウ



アッケシソウを楽しむ来観のみなさん



「アッケシソウ通信」第九号 によせて

浅口市長 栗山康彦

アッケシソウ通信第九号の刊行におかれまして、心よりお祝いを申し上げます。

また「寄島町アッケシソウを守る会」の皆様方には、平素より、本州唯一の貴重な自生地の保全活動をしていただいております。厚くお礼を申し上げます。

さて貴会は、昨年の「『みどりの愛護』功労者国土交通大臣表彰」受賞に続き、今年「第十一回『ビオトープ顕彰』審査委員長賞」を当市とで受賞いたしました。皆様が生かすに、愛情をもって活動されていることが高く評価され、受賞に至ったものと存じます。

愛情をしっかりと受け止めたアッケシソウは、本通信が発刊される頃には、鮮やかな赤に色づきます。紅葉したアッケシソウは、何度訪問しても、他にはない素晴らしい景色です。貴会を始めとする皆様も、この景色を今後も見たい、後世に

伝えたいという思いを持たれている

ことでしょう。アッケシソウを守る

ための除草活動には、学生や地元企

業の方もボランティアとして携わっ

ておられますが、絶滅危惧にある植

物を自分たちも一緒に守っているとい

自尊心の育成にも繋がっているものと存

じます。

そうした皆様の温かい手によって大切

にされているアッケシソウが、秋を運ぶ

市の風物詩として、益々愛されること

を期待してご挨拶いたします。

アッケシソウの現状と 今後の課題

寄島アッケシソウを守る会

会長 花房泰志

保護活動十六年と自生地の拡大

平成十六年発足の「寄島町アッケシソウを守る会」も、はや十六年の歴史を刻みました。その間、浅口市当局をはじめ、ご関係の皆様方の温かいご指導とご支援

を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、アッケシソウの自生地は、A

地区が約二五〇〇㎡、木道を設置し、足

元でアッケシソウを観察・鑑賞できるC

地区は約五〇〇㎡と拡大し、九月中旬開

催の「緑のアッケシソウを楽しむ会」は

このC地区で行っています。なおD・E

地区は手をつけず、自然のままの生育を

見守っています。

市内の企業団体賛助会員・全国の企業・

団体からの支援と表彰、に感謝

年三回のアッケシソウ祭りと、活動に伴う草刈用

やアッケシソウ祭り、活動に伴う草刈用

具や設備の充実等、皆

様方のご支援によって

守る会は支えられてい

ます。

地元の企業団体から

のご支援に加え、ホー

ムセンターコメリ緑助

成金、日野自動車グリ

ーンファンド助成金等

を賜り、厚く御礼申し

あげます。

また、昨年十二月の備中県民局からの

表彰、今年六月の日本ビオトープ協会か

らの、審査委員長賞受賞など、守る会へ

の激励のメッセージに、会員一同やる気

と大いなる喜びを感じています。

地球の温暖化や害虫に負けるなアッケシ

ソウ

アッケシソウは地球の北半球に棲息す

る植物で本来涼を好む植物です。本州唯

一の自生地寄島町アッケシソウにとって、

近年の地球温暖化は大敵であり、十月の

紅葉も今一紅が鮮明ではありません。

さらに、六年前の平成二十四年六月、

突如発生した日本初の寄

島町アッケシソウキバガ

が、今年再び六月に発生

し、かなりの被害を受け

ました。

地球の異常な温暖化と、

天敵アッケシソウキバガ

にどう対応し、浅口市の

宝物アッケシソウを健全

に守ってゆかかが、目下

の重大な課題であります。



遊水に集う鳥たち

公益財団法人コメリ 緑育成財団より寄付金

この寄付金は「緑豊かなふるさとづくりを目的として地元住民による自然環境の保護・保全活動等公共性のある団体活動に対して贈られたものです。



設置した看板

- ・寄付金による備品類購入の内訳
- ・スタンドバック
- ・アメリカンレーキ
- ・両刃鎌
- ・軍手
- ・草刈り機替え刃
- ・混合ガソリン

企業からの助成金紹介

○公益財団法人

日野自動車グリーンファンド

- ・さまざまな、環境緑化自然保護にかかわる事業の実践助成を認められました。
- ・助成金による備品類購入の内訳は
- ・草刈り機 共立ハンマーナイトモア



強力な助っ人登場の手押し草刈り機

○サン基金

- ・地域でボランティアや福祉活動に取り組む団体という事を認められ支援されました。
- ・助成金による備品類購入の内訳は

- ・集会テント
- ・屋外ベンチ
- ・のぼり

○公益信託サニクリーン

中国環境美化基金

- ・環境美化活動を行うボランティア等団体に助成顕彰を認められました。
- ・助成金による備品類購入の内訳は

- ・ガソリン携行缶
- ・草刈り機替え刃
- ・整地レーキ
- ・ガーデンスタンドバック
- ・ガソリン・混合油

○公益財団法人

日本生命財団 ニッセイ財団

生き生きシニア活動顕彰

- ・高齢者の地域貢献活動に対して顕彰されました。顕彰金を受領し、必要とする備品類の購入を検討予定です。

○特定非営利活動法人

日本ビオトープ協会

ビオトープ顕彰「審査委員長賞」

- ・ビオトープ（生物が住みやすい様に、環境改変する）づくりを広め多様な生き物の生息環境が人々の生活にとっても重要であることを伝承して行く事を認められました。表彰状をいただきました。

○笠岡東ロータリークラブ

- ・今年も寄付金を賜りました。ご支援のご厚志に心から御礼申し上げます。

アッケシソウを守る会

活動方針

- アッケシソウの整備充実、ならびに新会員の加入に努める。
- 保護活動に関わる情報の収集および研修に努める。
- アッケシソウの生育保護について岡山理科大学との共同研究により、適切な保護対策を立てる。

令和元年度 事業内容

- 四月十四日(日) 総会
- 五月十一日(土) 会員研修視察 (兵庫県赤穂市ほか)
- 五月二十五日(土) 第一回自生地草刈り作業
- 六月二十二日(土) 第二回自生地草刈り作業
- 七月二十日(土) フラワーロード草刈整備
- 九月七日(土) 第三回自生地草刈り作業 整備(開花宣言)
- 九月十四日(土) 緑のアッケシソウを 楽しむ会
- 十月 月 発行
- 十月 月 発行
- 十月十一日(金) アッケシソウ祭り準備
- 十月十二日(土) アッケシソウ祭り
- 十月二十二日(火) (ガイド・パトロール他)
- 十月二十三(水) アッケシソウ祭り片付け
- 冬季 自生地整備
- 随時 役員会・害虫の発生調査

企業等賛助会員

アツケシソウを守る会の活動資金充足のため、今年度も企業賛助会員をお願い致しましたところ、三十六の企業・病院・金融関係・商店等からのご協力、ご支援をいただきました。心からのお礼を申し上げます。(アイウエオ順列記)

- | | |
|--------------|---------------|
| アキタ帽子㈱ | セイブスポーツ |
| 池田歯科医院 | ㈱妹尾溶接 |
| ㈱一力興業 | 高山医院 |
| 印刷のよこやま | 中央ガス㈱ |
| オカベポリ工業㈱ | 中備化工 |
| 岡山西農協寄島支店 | ドレンシー㈱ |
| 垣内フォトスタジオ | 中務製材㈱ |
| 笠岡信用組合 | ㈱ニッペコ岡山工場 |
| 寄島支店 | ㈱美星ミート |
| ㈱川崎商会 | ファーマバツク岡山工場 |
| ㈱吉川隆泉堂 | 医療法人 福嶋医院 |
| 金光病院 | 道廣製帽㈱ |
| 斎藤教材㈱ | ㈱ミヤケ建設 |
| 斎藤産業㈱ | 医療法人 みわ記念病院 |
| ㈱さぬぎや | ㈱めぐみ |
| しろやま歯科クリニック | 山下農機商会 |
| ㈱菅呉服店 | 医療法人 よりしま中西医院 |
| すくすくこどもクリニック | ローソン浅口寄島店 |
| ㈱西備サービス | |

「守る会」研修旅行

赤穂市高嶺地区に寄生植物
ハマウツボを訪ねて

藤 沢 福 夫

五月十一日(土)の早朝、会員十七名が小型バスに乗車し、一路赤穂市に向けて出発。天候は良好で車窓からは、初夏の山並みが、目に迫りました。

当日は、高雄地区水辺つくり協議会の皆さんの案内で、ハマウツボ自然観察会が開催され、接待を受けました。

まず、水辺つくり会長の前田さんから、丁寧な説明を受けその後、高雄小学校の児童との千種川河川敷での面会、児童と一緒にハマウツボの観察をしました。
ハマウツボとは、寄生植物で葉緑素を、もたず特にカワラヨモギの根に寄生する一年草です。環境省レッドブックの絶滅危惧種一類に相当しているそうです。



今回の研修旅行で感じたことは、保護活動をされている水辺つくり協議会と、私たちのアツケシソウを守る会の間に、類似点があることです。まず共に会員の老齢化が進んでいること。小学生対象の環境学習の一環として活動している事。行政からの応援もあるが地域社会の、皆さんから暖かい支援があることです。赤穂市からの帰途、倉敷市の野鳥や昆虫と共生する自然植物園の重井菜用植物園に、立ち寄り貴重な野生植物を、観察しました。

守る会 作業会員 大募集!!

「守る会」の会員は現在、企業等賛助会員、個人賛助会員、作業会員をあわせて九十一名。その内作業会員は十五名です。その作業会員も、八十半ばを越え、草刈作業が困難となり、離脱を余儀なくされているのが現状です。

その様な中、おかやま山陽高校のサッカー部空手部皆さんの若い力、浅口市スポーツ少年団の若い力、そして浅口清掃センター皆さんの力強いボランティア活動に助けられている「守る会」の今があります。

浅口市内外の皆さんの作業会員入会を心よりお待ちしております。なお、会費は年間千円です。寄島サンパレア事務局までご連絡下さい。

編集後記

「アツケシソウ通信」第九号をお届け致します。

ご多用の中を早速の玉稿を賜りました栗山市長に、心からの御礼を申し上げます。残暑の中、九月十四日に「緑のアツケシソウを楽しむ会」が行われました。

僅か一日でしたが、早速に訪れた多くの皆さんの見学、熱心に観察・質問をする姿に我々作業会員一同は元気を頂きました。感謝すると共に、皆様のさらなるご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。

「アツケシソウまつり」は十月十二日から二十二日までです。是非見学に来て下さい。お待ちしております。